

## あすの道内 太平洋側で荒天(強風)の恐れ

(2014/10/13 02:23)

札幌管区气象台発表によると、道内では13日夜から太平洋側で天候が崩れ始め、14日は太平洋側の海上を中心に北東の風が非常に強まり、大荒れになる恐れがあるという。

### 自分は、事故を起こすはずがない？ 事故に遭うはずがない？

(16～20時)、夕暮れ・夜間の歩行者・自転車に注意

荷台からの転落に注意！

バック時は 降りて確認 乗っても確認

2時間ごとに、15分休憩！

## 荷主と協力 防ごう 労災事故

### 1トンの重しが落下 作業中の男性死亡

2014年10月12日 11:38

千葉県の機械加工業の工場で10日午後4時ごろ、熱処理炉を解体していた男性（73）の上に、炉のふたを吊り上げていた金属製の重しが落下した。男性は病院に搬送されたが、全身を強く打っており搬送先の病院で死亡が確認された。一緒に作業をしていた別の男性も肋骨などを折る重傷。同署によると、重しは重さ約1トン。午前8時から4人で作業していた。

### 作業員が足踏み外し転落、天井抜ける

「天井が薄く注意が必要なことは事前に伝えていた」

2014年10月10日 09時11分

世界文化遺産の高山社跡（群馬県藤岡市）で、天井裏で作業をしていた男性が転落してけがをし、天井の一部が抜け落ちたことがわかった。3日午前10時40分頃、見学者用パネルが展示されている部屋の天井裏でインターネット機器の設置作業をしていた情報機器メーカーの男性（53）が足場から足を踏み外し、天井を突き破って転落。背中の骨を折るけがをした。この事故で厚さ約3ミリの天井が長さ約2メートル、幅約1メートルにわたり抜け落ちた。事故当時、部屋に見学者はいなかった。同市教委は「天井が薄く注意が必要なことは事前に伝えていた。工事に細心の注意を払うよう指導を徹底したい」と話している。

### 機械に挟まれ、死亡、労災で書類送検

2014年10月9日(木) 11時36分

山形県の業務用クリーニング業の工場今年2月、男性従業員＝当時（20）＝が機械に首などを挟まれた事故で、労働基準監督署は8日、労働安全衛生法違反の疑いで同社と取締役の男性工場長（55）を書類送検した。男性従業員は事故の約1カ月後、死亡した。送検容疑は2月28日、工場内でかご付きリフトコンベヤーについて、安全管理や指導を徹底すべきだったにもかかわらず、必要な措置を講じなかった疑い。同署によると、男性従業員は当時、2階に上げる途中、リフトコンベヤーが停止。機械のそばで調整していたところ、突然、動きだし、機械側面のカバーとかごの間に、あごから胸まで挟まれた。

### 歯車に挟まれ、重傷事故、労災で書類送検

2014年10月9日(木) 11時38分

山形県の食料品製造業の工場今年5月、機械を洗浄中の女性従業員が右腕を折るけがをした事故で、労働基準監督署は8日、労働安全衛生法違反の疑いで、同社と60代の男性専務を書類送検した。送検容疑は5月23日、工場、歯車など危険な部分がある機械の洗浄作業を女性作業員に行かせたにもかかわらず、囲いを設けるなど事故防止措置を講じなかった疑い。同署によると、専務は労働者の安全管理を担当する立場だった。女性はヨモギをゆでる機械の洗浄中、ベルトコンベヤーの隙間にスポンジを落とし、機械を作動させたまま手を入れて取り出そうとしたところ、歯車に右腕を挟まれた。